

長篠・設楽原歴史検定

(中級編)

検定日 令和7年1月26日(日)

検定上の注意

1. 検定開始の合図があるまで、問題用紙を開かないで下さい。
2. 解答用紙に受験番号・氏名をご記入下さい。
3. 解答用紙には答えだけを書いて下さい。
4. 携帯電話は電源を切り、検定中は使用しないで下さい。
5. 問題用紙に乱丁・落丁がありました係員にお申し出下さい。
6. 検定開始後30分経過したら、解答用紙を机の上に置いて、ご退室下さい。退室後は再入室はお控えください。
7. 試験中の一時退室については原則禁止としていますが、トイレの利用、体調不良時については許可をすることとします。
その場合、手を挙げて監督者に知らせて下さい。
8. 遅刻による途中入室を許可していますが、試験時間を延長することは出来ません。予(あらかじめ)め定められた試験時間内で受験をすることとします。
9. 記入いただきました個人情報とは本検定以外のことで利用することはありません。

1 この表の情報は、長篠・設楽原の戦いに関する城郭と城主のことを説明したものです。
以下の問いに答えなさい。(全14問)

国名	城郭	関係人物	概要
三河国	長篠城	奥平信昌	永正5年(1508)に <input type="text" value="A"/> 方の部将であった <input type="text" value="B"/> が築城。長篠・設楽原の戦いの当時の城主・奥平信昌は元々 <input type="text" value="C"/> 方に属していたが離反し、徳川方に付いた。 <u>①翌年に郷ヶ原に新城城を築城し、長篠城は廃城となったと伝えられている。</u> 野牛曲輪にあった野牛門は吉田城へ、大手門は新城城へ移築されたといった伝承があるが、発掘の結果、長篠城は16世紀末まで存続していたことが分かっている。
	<input type="text" value="D"/>	酒井忠次	Dは現在の豊橋市にある城跡で、長篠城から約 <input type="text" value="E"/> km離れている。永正2年(1505)に牧野古白によって築城されたと伝えられており、後に東三河の中核を担う城となる。天正18年(1590)家康の関東移封後、 <input type="text" value="F"/> が入城し、城の拡張や城下町の整備をおこなった。
	野田城	<input type="text" value="G"/>	元亀4年(1573)、 <input type="text" value="H"/> による野田城攻めでは約1ヶ月間の攻防の後、開城を強いられた。この城攻めが② <input type="text" value="H"/> <u>にとって生前最後の城攻め</u> となった。当時の城主だった <input type="text" value="G"/> は、後に人質交換により徳川方へ戻り長篠・設楽原の戦いでは鳶ヶ巣山の奇襲攻撃に参加していた。
	古宮城	<input type="text" value="H"/>	新城市作手地区にある城郭。元亀3年(1572)頃に <input type="text" value="H"/> が <input type="text" value="I"/> に命じて築かせた。しかし、 <input type="text" value="J"/> (1575)に武田勝頼が織田・徳川連合軍に敗北すると、当地における武田方の影響力は失われた。古宮城が武田の拠点として存続した期間は、わずか3年余りであった。 古宮城跡に一步踏み入ると、土塁と堀が巧みに配置され、極めて防備性の高い登城道を現在も見る事ができる。城跡は南北約200m、東西約 <input type="text" value="K"/> mの独立した小山全体からなり、その丘陵を分断するような巨大な堀によって一城別郭式の縄張りとなっている。

- (1) この表が説明する内容として、表中の空欄 から に当てはまる語句を以下のアからセの選択肢からそれぞれ選び答えなさい。

ア:吉田城 イ:二連木城 ウ:織田 エ:今川 オ:武田 カ:20 キ:250 ク:菅沼元成
ケ:菅沼定盈 コ:池田輝政 サ:武田信玄 シ:馬場信春 ス:天正3年 セ:天正5年

- (2) 表中の①翌年に郷ヶ原に新城城を築城し、長篠城は廃城となったと伝えられている。について、天明2年(1787)の長篠城図によると、廃城となった長篠城の江戸時代の状況が伺える内容が記されています。さて、その内容とはどんな内容か、以下のアからエの選択肢から正しいものを1つ選び答えなさい。

ア:長篠城跡の殿井から水を引き、水田として稲作が盛んな様子が描かれていた。

イ:本丸は年貢納入の対象地となって開墾され、畑地となっていた。

ウ:国指定史跡に指定され、曲輪や縄張の保全のため土地開発を制限していた。

エ:野牛曲輪に水田が設けられ、また、土塁や堀も埋められ遺構が破壊されていた。

- (3) 表中の② にとって生前最後の城攻めとなった。について、 の人物は、その1年前の元亀3年(1572)に甲府から遠州へと侵入し、徳川家康と対峙し、大勝しています。さて、その戦いとは何か、以下のアからエの選択肢から正しいものを1つ選び答えなさい。

ア:川中島の戦い

イ:三方原の戦い

ウ:二連木城攻め

エ:堀江城攻め

- (4) (3)で、家康に大勝した の人物がその後に掌握しようとした湖はどこか、以下のアからエの選択肢から正しいものを1つ選び答えなさい。


ア:段戸湖

イ:三河湖

ウ:浜名湖

エ:鳳来湖

2 次の表を見て、以下の問いに答えなさい。(全13問)

天正3年 (1575)	3月下旬	武田軍が三河への侵攻を開始
	4月19日	武田軍が④城を奪取する
	4月28日	武田軍が⑤城を攻める
	4月29日	武田軍が⑥城を攻める (この時には既に家康が⑦城から移動し入城していた吉田城を、武田軍が攻めるが中断して長篠城へ向かう)
	5月1日	武田軍が長篠城を包囲する
	5月6日	武田軍が長篠に兵を残し、⑧表を攻める
	5月7日	武田軍が長篠城を再び攻める
	5月①日	⑨織田信長が岐阜を出立
	5月②日	奥平信昌の使者・鳥居強右衛門が長篠城を脱出
	5月③日	・強右衛門が⑩で狼煙をあげる ・信長が岡崎城に到着し家康と合流する ・岡崎城に到着した強右衛門は、長篠城中の報告と援軍の確認をした後すぐに長篠城へと引き返す
	5月16日	・強右衛門が⑪で狼煙をあげる ・強右衛門が武田軍に捕まり長篠城に向かって援軍要請の成功を叫ぶが、磔刑に処される
	⑫	
	5月20日	酒井忠次率いる軍勢が鳶ヶ巣山砦への奇襲攻撃を決行
	5月21日	織田・徳川連合軍と武田軍による設楽原決戦がおこなわれる

- (1) 表中の空欄 ① から ③ に当てはまる日にちを算用数字で記述しなさい。
- (2) 表中の空欄 ④ から ⑧ に当てはまる語句を、以下のアからクの選択肢からそれぞれ選び答えなさい。

ア: 亀山 イ: 二連木 ウ: 野田 エ: 牛久保 オ: 田峰 カ: 浜松 キ: 足助 ク: 高天神

- (3) 表中の⑨織田信長が岐阜を出立について、織田信長は5月11日に「近々、三河国へ出陣する」という内容の手紙を書いています。その手紙はどこに送ったものなのか、以下のアからエの選択肢から正しいものを1つ選び答えなさい。

- ア: 岡崎城
イ: 熱田神宮
ウ: 長篠城
エ: 豊川稲荷

(4) 表中の空欄 ⑩ と ⑪ に当てはまる語句として、正しい組み合わせを以下のアからエの選択肢から1つ選び答えなさい。

ア: ⑩雁峰山 ⑪雁峰山

イ: ⑩舟着山 ⑪雁峰山

ウ: ⑩舟着山 ⑪本宮山

エ: ⑩草鹿山 ⑪雁峰山

(5) 表中からよみとれる情報として正しいものを、以下のアからエの選択肢から1つ選び答えなさい。

ア: 奥平信昌は長篠城を開城し、使者を岡崎城に送った。

イ: 5月6日は長篠城への包囲を解いて休戦していた。

ウ: 長篠城での籠城は約3週間にもわたった。

エ: 強右衛門が狼煙をあげたのは、長篠城の窮地を岡崎に伝える意味の号砲であった。

(6) 表中より、武田軍が吉田城攻めを中断した思惑は何だったのか。

以下のアからエの選択肢から適当なものを1つ選び答えなさい。

ア: 吉田城は徳川領に大きく食い込んでおり、わずらわしい仕事だと思いながらも、長篠城奪回という目的に急遽変更した。

イ: 吉田城の支城である二連木城に、家康の息子・信康が約2,000人もの軍を率いて攻め込んできたため、強襲に遭うことを恐れた。

ウ: 勝頼が籠城兵に狙撃されて片耳を負傷し、深手を負ってしまい撤退する必要があった。

エ: 家康らが吉田城を脱出して岡崎城へ向かったという報せを受け、陣形を整える必要があった。

(7) 表中の⑫は、鳶ヶ巣山砦への奇襲攻撃に至るまでのことを示しています。

以下のアからエの選択肢から誤っているものを1つ選び答えなさい。

ア: 5月16日に信長は岡崎を出立し、豊川市の牛久保城に到着した。

イ: 5月17日に信長は野田城付近に到着した。

ウ: 5月18日に家康は弾正山本陣に布陣した。

エ: 5月19日に勝頼は才ノ神本陣に布陣した。

3 以下の画像資料AからEと、点線枠に囲まれた5つの説明文は、長篠・設楽原の戦いに関する人物を説明したものです。次の問いについて答えなさい。(全17問)

A



B



C



D



E



Aの息子・「亀千代」はBに仕え、関ヶ原の戦いでは、西軍の〔 ① 〕を捕縛するという武功をあげます。その後、亀千代はBの四男〔 ② 〕が家を興すときにその家臣となりました。以降、Aの一族は松平家の重臣として幕末まで仕えることとなりました。

BはCの長女「亀姫」を妻に持ちました。亀姫は浄土宗の寺院〔 ③ 〕で、〔 ④ 〕の菩提を弔うこととしました。また、長篠・設楽原の戦いで武功をあげたBは、織田信長とCから褒め称えられ、その恩賞として信長から刀剣〔 ⑤ 〕を受けられ、Cからも刀剣〔 ⑥ 〕を受けられました。その二つの贈り物は現在国宝に指定され、価値のある資料として遺されています。

Cはこの戦いで勝利を収めると、近隣の曹洞宗の寺院〔 ⑦ 〕で、戦没者を弔う大施餓鬼を行い、現在の「火おんどり」につながる松明を焚いて供養に勤めたと伝えられています。また、織田信長はその寺院で戦勝の祝杯を上げ、勝利を祝して「〔 ⑦ 〕」に改称させたと伝えられています。

Dは武田信玄の息子で、長篠城攻めでは、望楼を建てようとしたが、城兵による大筒の反撃にあったという逸話が有名です。設楽原決戦では織田・徳川連合軍に敗れ、〔 ⑧ 〕に向けて敗走しました。「長篠日記」によると、設楽原から敗走するDに付き添った武将に〔 ⑨ 〕と土屋惣蔵がいます。また、武田四天王の中でこの戦いに参加していなかった〔 ⑩ 〕がいます。

Eは築城の名手でした。本市にもEが設計を手がけたとされる城郭があります。また、長篠・設楽原の戦いにも参戦しており、徳川軍の家臣〔 ⑪ 〕と〔 ⑫ 〕砦で攻防を行っています。なお、Dの父・武田信玄の頃から仕える重臣でしたが、敗戦が決定し、Dが退却する中で、殿をつとめ討ち死してしまいました。

※上記の黄色マーカー「徳川軍の家臣」について
大変申し訳ございません。こちらの表記に誤りがございました。

正しくは「織田軍の家臣」です。

(1) 点線枠に囲まれた5つの説明文 ① から ⑫ に当てはまる語句を、以下のアからノの選択肢からそれぞれ選び答えなさい。

(2) 点線枠に囲まれた5つの説明文をヒントに、AからEの人物の名前を以下のアからノの選択肢からそれぞれ選び答えなさい。

ア:佐久間信盛 イ:山県昌景 ウ:内藤昌豊 エ:馬場信春 オ:安国寺恵瓊 カ:松平忠明

キ:鳥居強右衛門 ク:武田勝頼 ケ:奥平信昌 コ:徳川家康 サ:初鹿野伝右衛門

シ:松平景忠 ス:土屋昌次 セ:高坂昌信 ソ:鷲ヶ巢山 タ:丸山

チ:母の築山殿 ツ:兄の松平信康 テ:甲斐国 ト:遠江国

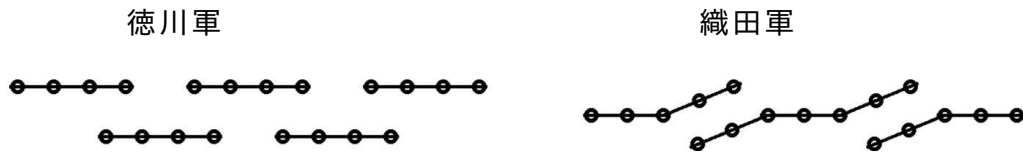
ナ:へし切長谷部 ニ:大般若長光 ヌ:長篠一文字 ネ:勝楽寺 ノ:大善寺

4 以下のAからEの文章は「馬防柵」について述べたものです。

次の問いについて答えなさい。(全1問)

A 新城市竹広地内の設楽原古戦場には「馬防柵」が再現されています。武田軍の攻撃を防ぐために連吾川沿いに構築されたもので、約2kmにわたっていました。

B 設楽原に再現された馬防柵は次の2種類の方法によって作られています。



これは、『長篠合戦図屏風』に描かれた馬防柵から推定復元したものです。

『長篠合戦図屏風』には「柵を互い違いに作る方式」と「斜めに通路を作る方式」の2種類が描かれています。そしてそれらはそれぞれ徳川軍と織田軍の前面に描かれています。

C 織田・徳川連合軍が布陣した設楽原は、連合軍にとって最も有利な場所であったわけです。信玄台地と弾正台地に挟まれた低地に連吾川が流れ、その流域に水田が広がっています。

D 宇連川沿いに連合軍は馬防柵を築き始めました。いつ武田軍が攻めてくるか分からないような状況であったため、短期間で馬防柵を築く必要がありました。

E 馬防柵は3重に築かれたともいわれ、さらに連吾川の東側にある大宮川にも築かれていたと伝えられています。



長篠合戦図屏風(中津城蔵)

- (1) AからEの文について、正しい文を【正】、誤っている文を【誤】とすると、それぞれの文の【正】、【誤】の組み合わせとして正しいものを、次のアからエの選択肢から1つ選び答えなさい。

ア A:正 B:正 C:正 D:正 E:正

イ A:正 B:誤 C:正 D:誤 E:正

ウ A:正 B:正 C:正 D:誤 E:誤

エ A:誤 B:正 C:誤 D:正 E:誤

5 以下の画像AからEをみて、以下の問いに答えなさい。

- (1) 火縄銃の撃ち方として正しい順に並べられたものを、以下のアからエの選択肢から1つ選び答えなさい。(全2問)

A



B



C



D



E



F



補足説明 D カルカを巢口(銃口)から差し込み、玉と火薬をしっかり突き固めます。

E 火蓋を開け、火皿に口火薬を入れます。その後閉じます。

F 巢口(銃口)から玉と火薬を注ぎ入れます。

ア:F→E→D→C→A→B

イ:D→F→C→E→A→B

ウ:D→E→F→C→B→A

エ:F→D→E→C→A→B

- (2) Aは火蓋を開けています。この動作を「火蓋を□□□□」といいます。この言葉は現在では物事が始まるということの意味する慣用句にもなっています。空欄に当てはまる語句を以下のアからエの選択肢から適当なものを1つ選び答えなさい。

ア:放つ

イ:落とす

ウ:切る

エ:解く

6 次の問いについて答えなさい。

- (1) 長篠・設楽原の戦いの様子を書き留めた『長篠日記』の筆者は誰か、以下のアからエの選択肢から適当なものを1つ選び答えなさい。(全1問)

ア:奥平九八郎

イ:阿部四郎兵衛

ウ:菅沼新八郎

エ:設楽弾正

7 次の問いについて答えなさい。

- (1) 次の文章空欄に当てはまる共通の語句として正しいものを以下のアからエの選択肢から1つ選び答えなさい。(全1問)

長篠城での籠城中に食糧に苦しんだ奥平軍が飢えをしのぐために□を拾い、それを食べたという故事にちなんで大分県中津市では□祭りが行われていました。

ア:かえる

イ:たにし

ウ:きじ

エ:こい

8 次の問いについて答えなさい。

- (1) 日本一短い手紙で知られ、「一筆啓上」という文言で始まる書状は、設楽原の陣中に参戦していた人物が妻に宛てたものとされています。簡潔に要点を記した名文の手本とされるこの書状を書いた人物は誰か、以下のアからエの選択肢から1つ選び答えなさい。(全1問)

ア:本多重次

イ:天野康景

ウ:高力清長

エ:成瀬正成